

事業名:

〇〇〇〇 x x x x 事業

資金分配団体名:

実行団体数:

〇〇団体

実施時期:

20* * 年 月～20* * 年 月

事業対象地域:

〇〇県

事業対象者:

〇〇〇〇

I. 見直し後*の モニタリング指標

モニタリング指標とは、事業成果の達成状況や事業の進捗状況を把握するためのキーとなる指標を指します。この指標が順調に進んでいれば事業成果が得られる見込みが高いであろうと判断ができるもので、KPIと同意のものです。この指標を事業期間中に定期的に確認することで、事業計画全体の進捗管理や事業の進め方等の見直しを行っていきます。

見直し後*の事業計画内の「今回の事業実行を通じた目標」のうち、モニタリング指標として設定できるものについて記載してください。

今回の事業実行を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
（課題の再設定等を通じ、見直しをした事業目標について記載ください。変更がない指標についてもお手数ですが再度ご記載ください				
※複数ある場合は行を挿入してください				

*実行団体の事業計画等から見直した結果

II. 事業設計図

見直し後*の事業計画をもとに、事業設計図の記載をお願いします。

【ボックスを利用する場合】下の枠を使って作成してください。必要に応じてボックスの数やサイズ、枠の大きさを変えていただいて構いません。

【ボックスを利用しない場合】別に作成されている図を枠内に挿入いただくか、別添資料としてご提出ください。

事業実施後（1年後）以降に目標とする状態

ボックス 1

今回の事業実行を通じた目標

ボックス 2

活動（実行団体の活動）と（資金分配団体による伴走支援）

ボックス 3

ボックス 4

各項目を作成する時の問い

◀設定した社会課題の解決に向けて、事業実施後（1年後）以降には、誰（何）が、どんな状態になっていることが必要ですか？
◀その目標とする状態が達成されていれば、事業終了後も継続して目指していく中長期のアウトカム達成につながっていきますか？

◀活動によってどのような結果（今回の事業実行を通じた目標）が生み出されますか？
◀今回の事業の成果として伝えたい結果はどのようなものですか？
◀「事業実施後（1年後）に目標とする状態」の達成につなげるためにどのような結果を生み出すことが必要ですか？

◀事業実施後（1年後）以降に目標とする状態を生み出すために、実行団体が実際に取り組む具体的なことはなんですか？
◀実行団体の活動がより円滑に進み、事業実施後（1年後）以降に目標とする状態に近づくために資金分配団体によるどんな伴走支援が必要ですか？

Ⅲ. 事業設計図作成のためのチェックリスト

実効性の高い事業設計図を作成するために、以下のような点検や確認を行いながら作成しましょう。

1	改めて最終受益者の声を聞き課題やニーズを確認した	<input type="checkbox"/>
2	採択後の実行団体の事業計画を反映した	<input type="checkbox"/>
3	資金分配団体の活動（伴走支援）を実行団体の状況やニーズを踏まえて検討・更新した	<input type="checkbox"/>
4	活動が今回の事業実行を通じた目標に繋がっていることを確認した	<input type="checkbox"/>
5	作成した事業設計図を最終受益者に見せた	<input type="checkbox"/>